

令和7年度 第1回「生徒による授業アンケート」について（報告）

本校の教育活動につきましては、日頃よりご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、このたび令和7年7月に第1回の「生徒による授業アンケート」を実施いたしました。第1回の結果を踏まえ、授業改善への手立てを検討し、各教科で授業の質の向上に取り組んでおります。

つきましては、各教科のアンケート集計分析結果及び授業改善への取組の概要をご覧いただき、ご質問やご意見などがありましたら、ご連絡くださるようお願いします。

1. 集計対象の科目（一部略称あり）

教科名	科目名			教科名	科目名		
国語	文学国語*2 必選論理国語*2*3	古典探究	論理国語	芸術	音楽Ⅲ *2*3	書道Ⅲ *2*3	
地歴公民	地理総合*1 政治経済	日本史探究*3 必選政治経済*2*3	世界史探究*2*3 地理探究*2*3	外国語	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅱ *2	必選英語Ⅱ *2*3
数学	数学Ⅲ*2*3 数学A*1*3	理系数Ⅱ*2*3 必選数Ⅱ*2*3	数学C*2*3	家庭			
理科	化学*2*3 物理基礎*1	物理*2*3 必選化基*2*3	生物*2*3	情報			
保健体育	体育*1 スポーツ総合演習*1	体育*2 スポーツ概論*1 スポーツ実習*2					

*1 スポーツ科学科のみの科目 *2 普通科のみの科目 *3 選択科目 *4 習熟度別授業を展開している科目

2. 質問及び選択肢の一覧

分類	質問		略称
授業のあり方	1	教材が工夫されるなどして、取り組みやすく、生徒の理解度に合わせた授業が進められている。	理解度
	2	毎回の授業の最初に、ねらいを確認したり、授業の終わりに学習したことを振り返ったりする機会がある。	ねらい・ふりかえり
	3	授業の中で、友人と話したり、文章を読むことなどをおして、自分の考えを広げ深める機会がある。	思考の機会
	4	授業の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考えたりする場面がある。	まとめ・解決の機会
学習の状況	5	先生・友達に聞いたり、自分で調べたりするなど、授業に対して意欲的に取り組んでいる。	意欲的態度
	6	予習、復習をしっかりとっている。	予習・復習
	7	授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた。	成長実感
	8	授業の中で他の人の考えを聞いたり読んだりして、自分の考えを広げ深めることができた。	思考の実践
	9	授業で学んだことに対する自分の考えを書いたり、新しい問題を解決する方法を考えたりすることができた。	まとめ・解決の実践
	10	授業で新たに学んだことを、これまで学んでいたことに、結び付けて理解することができた。	既習事項とのかわり
	11	家庭学習を習慣化している。	家庭学習

否定的 1 ほとんどあてはまらない 2 あまりあてはまらない 3 ほぼあてはまる 4 かなりあてはまる 肯定的

問合せ先
副校長 吉垣 武
電話 046-241-8001

3. 各教科の回答割合（一覧）

[illegible]

4. 各教科の集計分析及び授業改善案

教科	集計分析	授業改善
国語	論理国語、文学国語、古典探究のいずれの科目においても、授業のあり方については、肯定的な回答が多い。その一方で、学習の状況については、「予習・復習」、「家庭学習」の項目で、否定的な回答が多く見られる。「まとめ・解決の実践」や「既習事項とのかかわり」について、肯定的な回答が多く見受けられることから、授業時に理解し、振り返りを行っていることで満足してしまっていることが考えられる。	各科目で実施している小テストに関しては、計画的にテスト勉強ができるよう、テスト実施日および範囲の周知徹底を行う。 各科目で配布している復習用ワークシートを「予習・復習」や「家庭学習」として有効活用できるよう、計画的に配布するとともに、改めて生徒への声かけを行う。また、提出期限を明確に設けるなどして、授業担当者が生徒の取り組み状況をしっかりと把握できるようにする。
地歴公民	必修・選択政治経済ともに、「家庭学習を習慣化している。」の項目が否定的回答が多かった。生徒の自主性を伸ばせるような授業づくりをしていく必要がある。 また株式学習ゲームを導入していることから政治経済分野で学習していることの知識を踏まえて実践していることで「既習事項とのかかわり」の項目では肯定的な回答が多かったとうかがえる。	教科の特性として身近な様々な事象・事柄を概念的に学習できるため、授業内容と生徒の生活にどのように結びつけていくか、クロームブックなどをつかった探究活動を取り入れることで身近な事象との結びつけを意識づけられるように促す。
数学	「授業のあり方について」の肯定的意見が多い一方、「家庭学習」等の家庭学習の時間が取れていない人が多い。2学期以降の授業で家庭学習の時間が増えるよう工夫していきたい。	家庭学習において、定期的に復習の課題を出して授業内容の振り返りをさせる。
理科	授業のあり方に関してはどの科目も肯定的回答を多く得ている。各科目で以下の項目について否定的回答が多かった。物理では「思考の機会」の項目で否定的回答が約6%であった。化学基礎では否定的回答がなかった。これは9名の少人数クラスによるものである。生物では、「思考の機会」の項目で否定的回答が22%であった。物理基礎では「まとめ・解決の機会」の項目で否定的回答が約13%であった。なお、化学では「まとめ・解決の機会」の項目で否定的回答が約14%であった。 学習の状況については、どの科目も「予習・復習」や「家庭学習」が例年と同様、否定的な回答の数値が高い。	授業のあり方に関して各科目で次のように改善する。物理では、発展的な内容を交えてより深い課題を課し、思考力を高める。化学基礎では、継続して現状のことを続けていく。生物では、日常の課題を設定し、生徒同士による話し合いを設け、思考の機会を増やしていく。物理基礎では、単元のまとまりごとに実験課題を設定し、まとめと解決の機会を設ける。 学習状況に関しては、学習内容をより深められるような課題を工夫し、発表やレポート、小テストなどを通じて学習習慣を定着させる。また、理科においては日頃から自然現象に関心を持ち、他教科との関連性を意識することが予習であり、家庭学習となることを周知する。
保健体育	スポーツ科学科のスポーツ概論、スポーツⅡ、スポーツ総合演習に関しては100%肯定的な回答を占める項目があるなど、肯定的な回答が全体を通して多数であった。 普通科の体育でも、理解度や成長実感の項目で94%が肯定的な回答であった。 スポーツライフマネジメントに関しては、ねらい・ふりかえり、思考の機会、まとめ・解決の機会において100%の肯定的な回答を得た。 すべての科目において、他学年も含めて、予習・復習、家庭学習の項目に課題を抱えている。	グループでの話し合いやフィードバックの時間を設定し、自己のみならず他者に対しての思考の機会や理解度の共有などを行えるよう時間設定の工夫を行ったことが肯定的な回答につながったことが考えられるため今後も継続していきたいと考えている。授業運営に関しても生徒が考え、協力して行えるよう発問を工夫したいと考えている。 ねらい・ふりかえりの面でクラスルームやワークシートを用いて、次回の目標設定を行ったり、種目全体の授業スケジュールを共有することで全体の見通しを立てることで予習・復習を意欲的に行えるようにしていきたい。
芸術	書道では全体を通して肯定的回答が見られた。音楽でも肯定的回答が多くみられたが、「予習・復習」、「家庭学習」等の項目で否定的回答がみられた。	1年時からの学習内容を積み上げ、それらが結び付きながら学びが深まることを生徒が実感できるよう取り組んでいく。また、授業で学習した内容を授業以外の場所でも生かすことができるよう、教科の特性をふまえ、課題の設定を工夫する。

外国語	<p>「教材が工夫されるなどして、取り組みやすく、生徒の理解度に合わせた授業が進められている」が肯定的解答が半数を超えており、生徒の習熟度に合わせた授業が行われていることがうかがえる。その一方で、「予習・復習をしっかりとっている」という質問に対しては否定的回答が40%を超えている。このことから授業の中においても家庭学習の習慣を付け、生徒が自発的に学習に取り組めるよう、取り組んでいく必要がある。</p>	<p>自ら英語学習に取り組めるようにするため、進路活動と絡めて資格の取得を促すなど目標を明確にさせることが大切である。また、授業の中でできなかったことができるようになる経験が生徒の学習意欲を高めると考える。</p>
-----	--	---

※紙面の都合上、質問内容については〈略称〉を用いて表記しています。

分類	質問	略称
授業のあり方	1 教材が工夫されるなどして、取り組みやすく、生徒の理解度に合わせた授業が進められている。	理解度
	2 毎回の授業の最初に、ねらいを確認したり、授業の終わりに学習したことを振り返ったりする機会がある。	ねらい・ふりかえり
	3 授業の中で、友人と話したり、文章を読むことなどをとおして、自分の考えを広げ深める機会がある。	思考の機会
	4 授業の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考えたりする場面がある。	まとめ・解決の機会
学習の状況	5 先生・友達に聞いたり、自分で調べたりするなど、授業に対して意欲的に取り組んでいる。	意欲的態度
	6 予習、復習をしっかりとっている。	予習・復習
	7 授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた。	成長実感
	8 授業の中で他の人の考えを聞いたり読んだりして、自分の考えを広げ深めることができた。	思考の実践
	9 授業で学んだことに対する自分の考えを書いたり、新しい問題を解決する方法を考えたりすることができた。	まとめ・解決の実践
	10 授業で新たに学んだことを、これまで学んでいたことに、結び付けて理解することができた。	既習事項とのかかわり
	11 家庭学習を習慣化している。	家庭学習の習慣化